

地域別構想：中部地域

目標：更なる高みを目指して！
暮らしやすい、働きやすい、訪れたいまちづくり

- 方針1：更なる生活利便性向上に向けた拠点機能の充実と新たな拠点の形成
- 方針2：地域間のつながり強化に向けたアクセス性の向上、周遊促進
- 方針3：地域資源（歴史・文化資源、農地、空き家等）の有効活用

【都市づくりの方針（主な事項の抜粋）】

広域拠点（ふれあい拠点：富里市役所周辺）

- 行政・文化の拠点として、既存施設の機能強化に加え、医療・福祉施設等の充実、世代を越えた交流の場として魅力的な拠点を形成します。

広域拠点（にぎわい拠点：富里IC周辺）

- 本市内外を結ぶ広域的な拠点として、商業などの産業系機能の集積を図り、多くの人が訪れ、交流する、にぎわいのある拠点を形成します。

広域拠点（とみさと中心拠点：七栄地区周辺）

- 他の広域拠点や市内各地、周辺鉄道駅を結ぶ交通結節点としての利便性を活かし、歩行空間の確保等による周遊性のあるまち並みを形成します。

生活拠点（根木名地区・中沢地区）

- 根木名小学校区の地域コミュニティを維持していくため、日常生活サービス機能の充実を図ります。
- 富里第一小学校区の地域コミュニティを維持するとともに、酒々井町と本市の中間に位置する市有地の活用による拠点性の向上を図ります。

交流拠点

- 交流人口の拡大に向け、旧岩崎家末廣別邸の周辺に本市の文化や自然、農業とのふれあいの場の整備を図ります。

成田空港と一体的な土地利用を検討する地区

- 成田空港の機能強化に対する受け皿として、住宅、流通、商業業務、宿泊、レクリエーション等の複合的な土地利用を検討します。

交通施設

- 既存バス路線の維持・拡充、さとバス・デマンド交通では、利用実態や利用者ニーズを踏まえた運行形態・路線の見直しに努めます。

■ 中部地域のまちづくり方針図

